

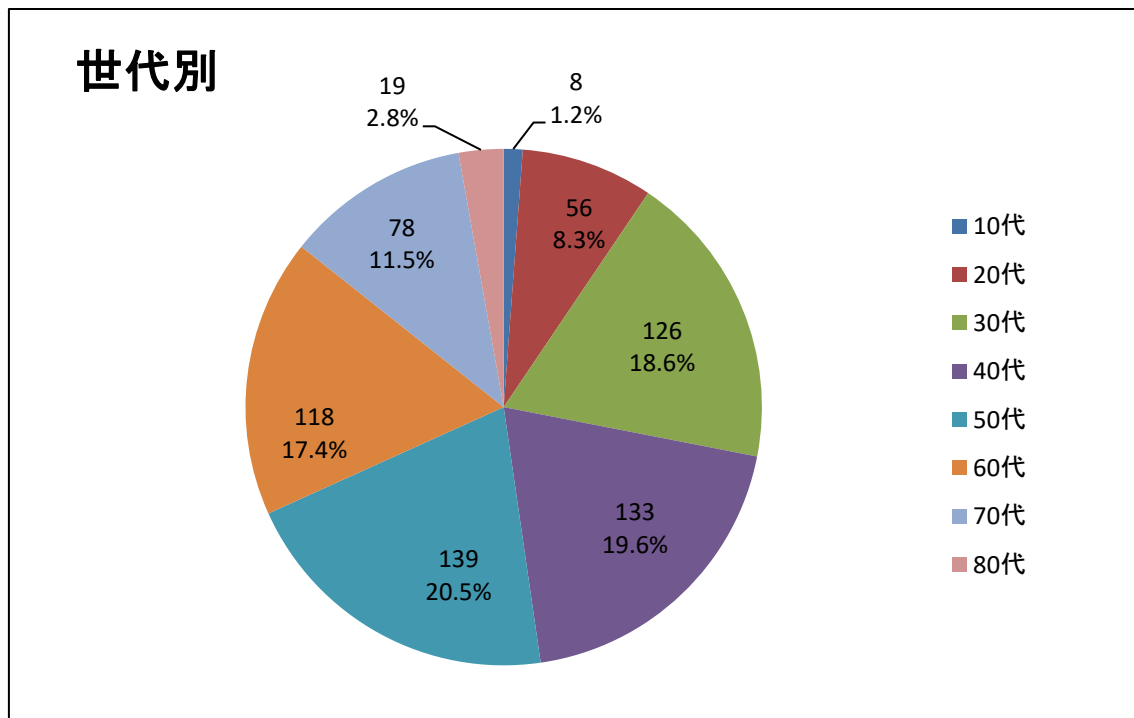
# 第3回eモニターアンケート 「広報広聴事業について」

実施期間  
回答数

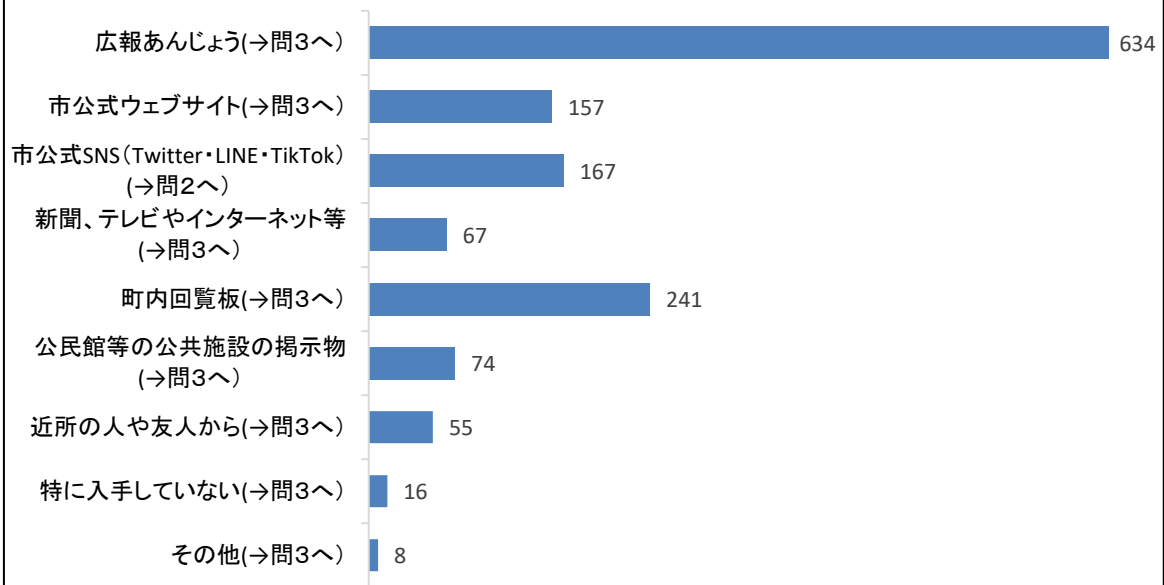
令和5年7月26日 ~  
677 人

令和5年8月2日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



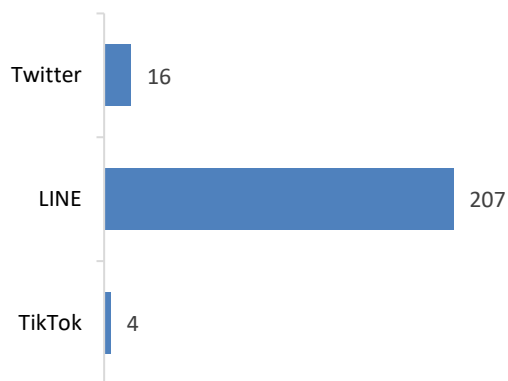
問1: 市からの情報の入手先を教えてください。(複数回答)



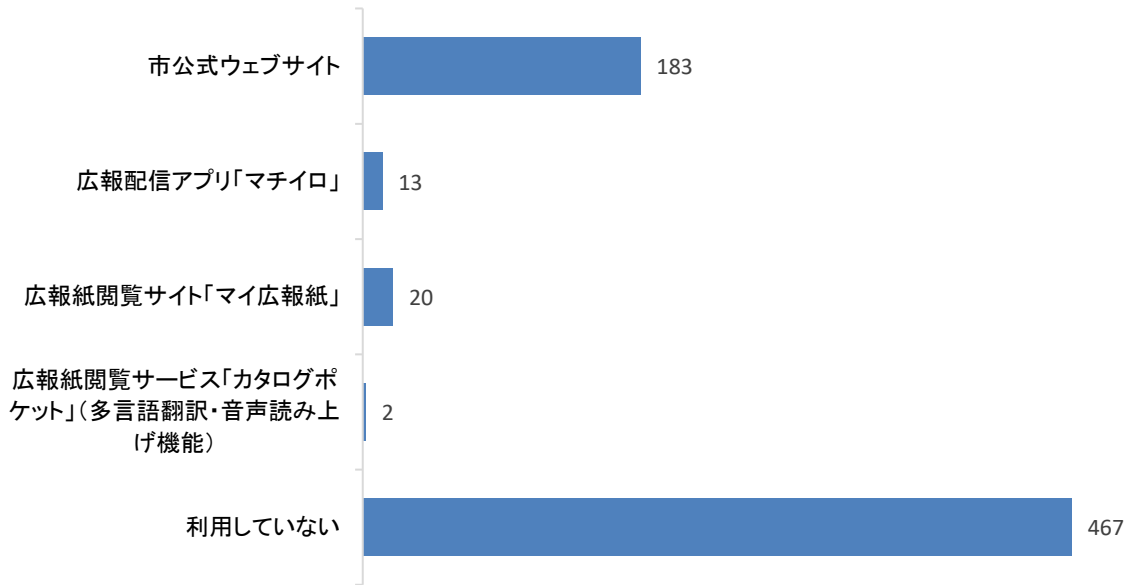
【その他の意見】

- ・子供が学校から持ち帰る書類
- ・安城インスタ観光広報部
- ・市議からの情報
- ・イベント

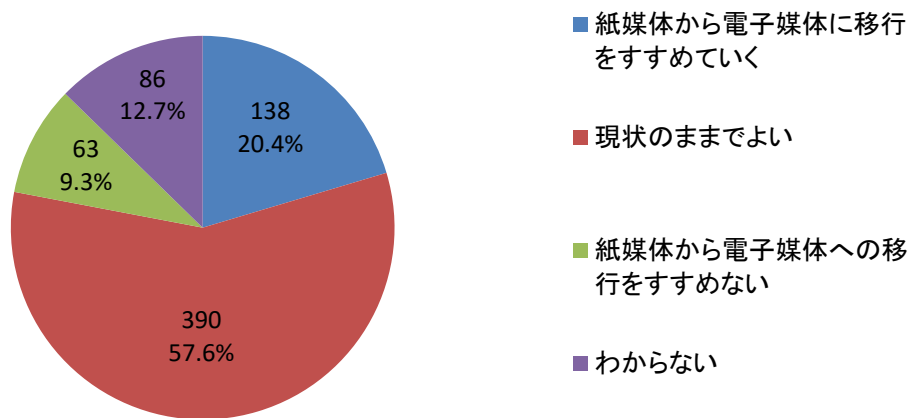
問2: 市公式SNSで利用しているものはどれですか。(複数回答)



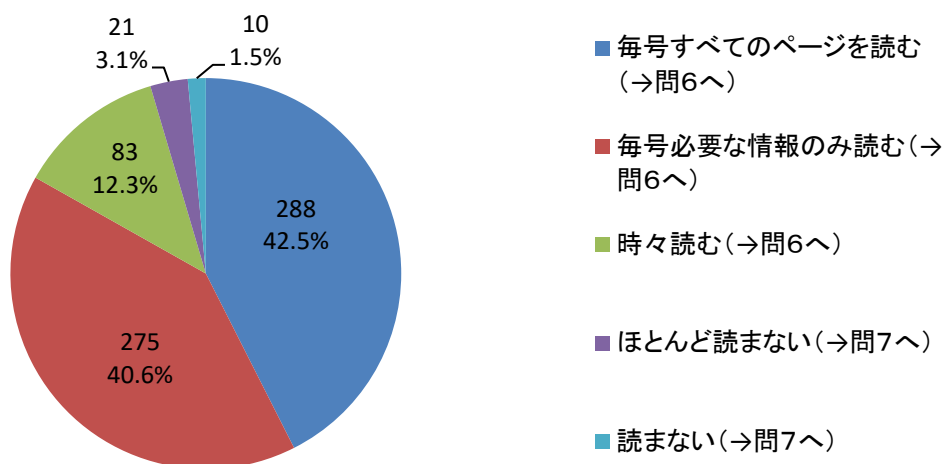
問3：広報あんじょうを電子媒体（デジタル版）で公開しています。  
利用しているものはどれですか。（複数回答）



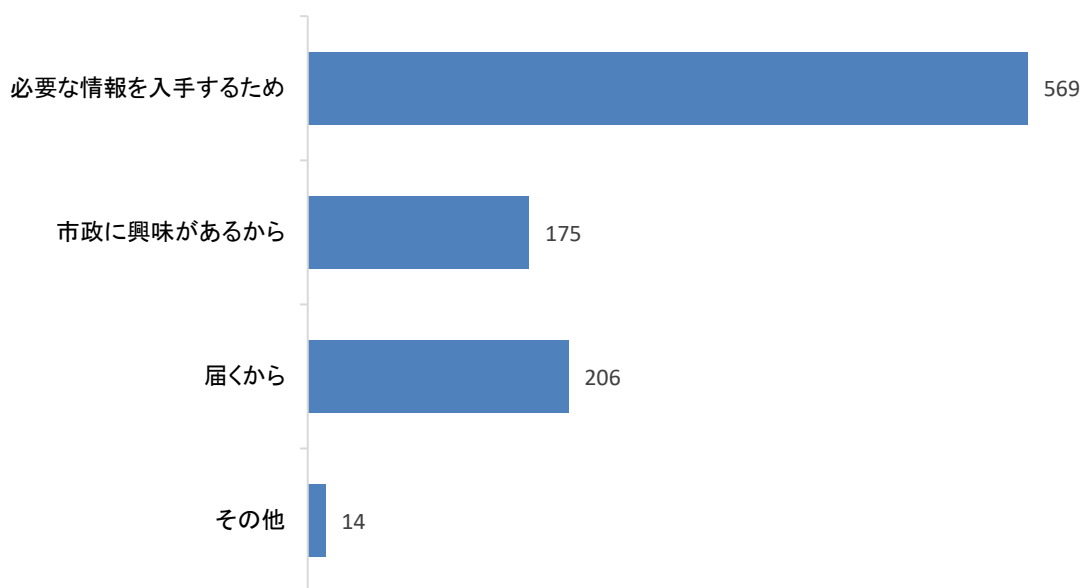
問4：広報あんじょうの電子媒体（デジタル版）の普及について、どのようにお考えですか。



問5: 広報あんじょうを読む頻度はどのくらいですか。



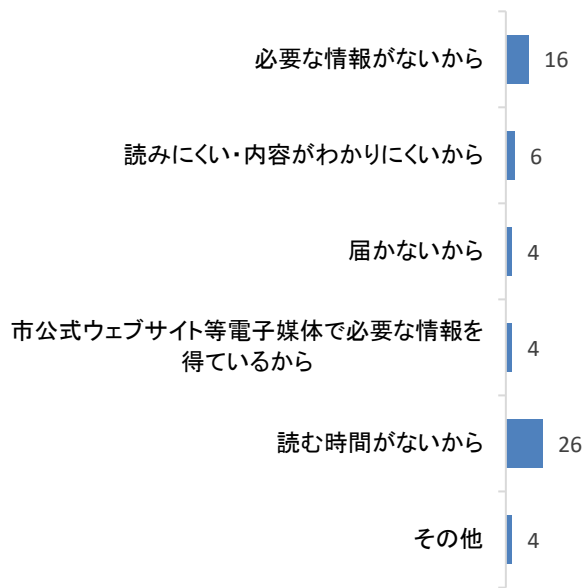
問6: 広報あんじょうを読む理由を教えてください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・イベント情報を確認するため
- ・他府県から引越してきて、知り合いもいないため、広報を頼りに参加できるイベントや活動等を探しているため
- ・育児に役立つイベントなどの情報を得るため
- ・障がい児がいるのでその情報収集
- ・有益な情報を見つけたい
- ・地元の情報がたくさん手に入って楽しいから
- ・デンパークのチケットを得るため
- ・市民サークルの募集を知る為

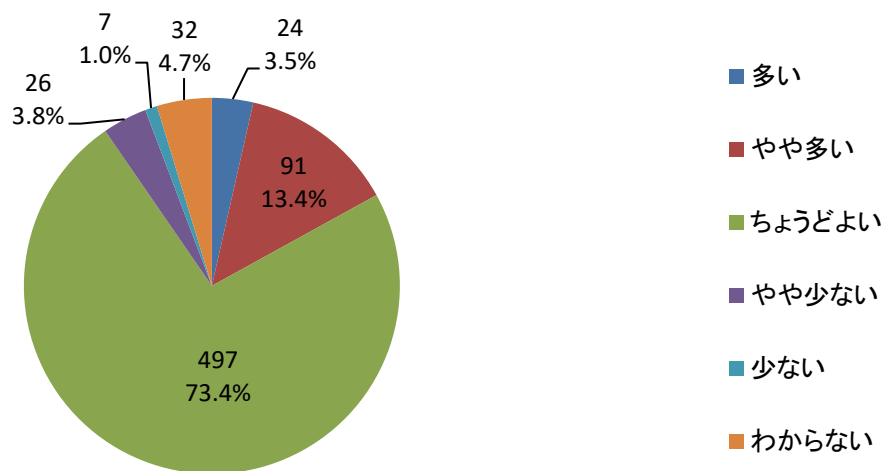
問7：広報あんじょうを読まない理由を教えてください。(複数回答)



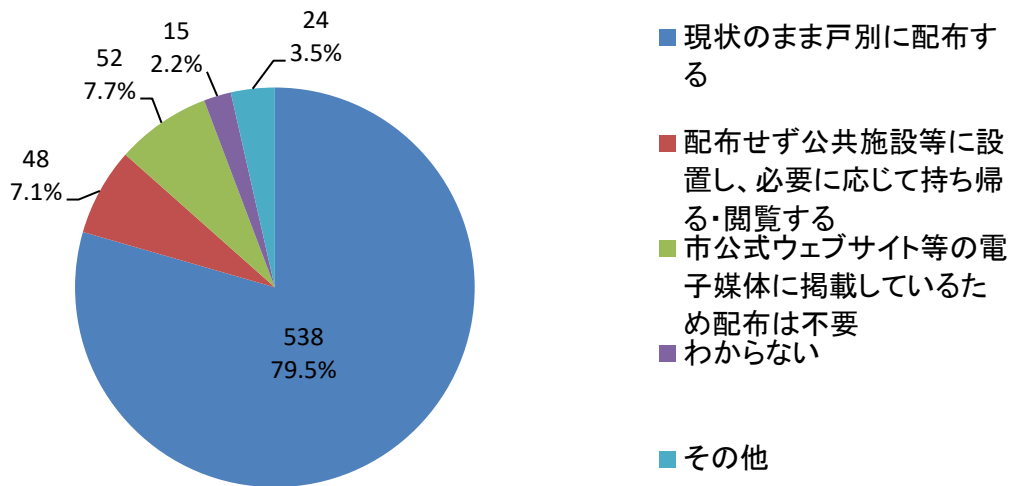
【その他の意見】

- ・現在の自分に必要となる情報はあまりないと思っているため。また関係ある記事があれば親が教えてくれるため
- ・妻任せ
- ・情報を必要としていないから
- ・内容が全員に向けているため情報の幅が広いので、関係ない情報がほとんどだから

問8：広報あんじょうのページ数について、どのように思いますか。



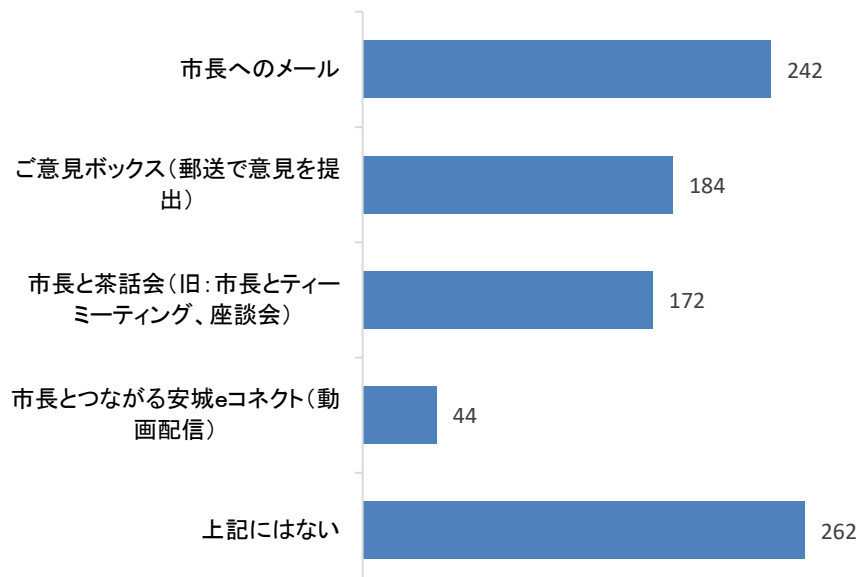
問9: 広報あんじょうの配布について、どのようにお考えですか。



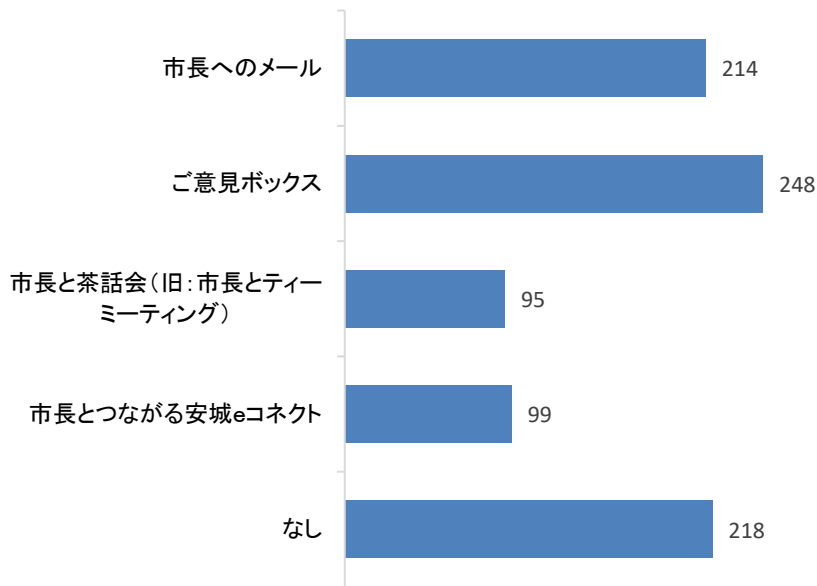
【主なその他の意見】

- ・配布せず公共施設に設置するか、届けてほしい人は事前申請
- ・基本電子媒体で、希望者のみ配布または施設に設置する
- ・お年寄りや体の不自由な方のいる家には配布、その他の家庭は自分で取りに行けばいいと思います
- ・紙媒体は届くのでその都度確認するが、電子媒体だと目にする機会は減りそう
- ・個別の事情に配慮して選択できると良いと思います。ただ電子媒体への移行を進めるために、何らかのインセンティブがあると良いと思います
- ・デンパークの無料チケットの掲載時期だけ個別配布であとは公共施設に設置
- ・郵便で届くので読むというところがあるが、近年の環境への配慮や仕事の精選を考えると、ネットで登録したアドレスに広報あんじょうが届くという形であれば読むかと思う
- ・配布が必要な家庭もあると思うので、不要な家庭は登録する
- ・電子媒体を基本とし、公共施設に少し置く。希望する家だけ紙配布。年に一度確認する。配布の人的費用を削減すべき。
- ・紙媒体を一気になくすのは難しいが、今の時勢、紙の媒体はなくすべき

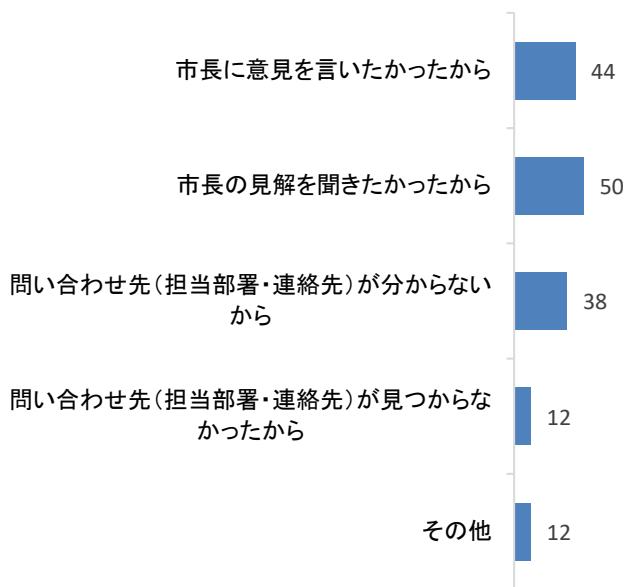
問10: 市民からの意見等を聞く広聴事業について知っているものはどれですか。(複数回答)



問11: 今後、機会があれば利用してみたい広聴事業はどれですか。  
(複数回答)



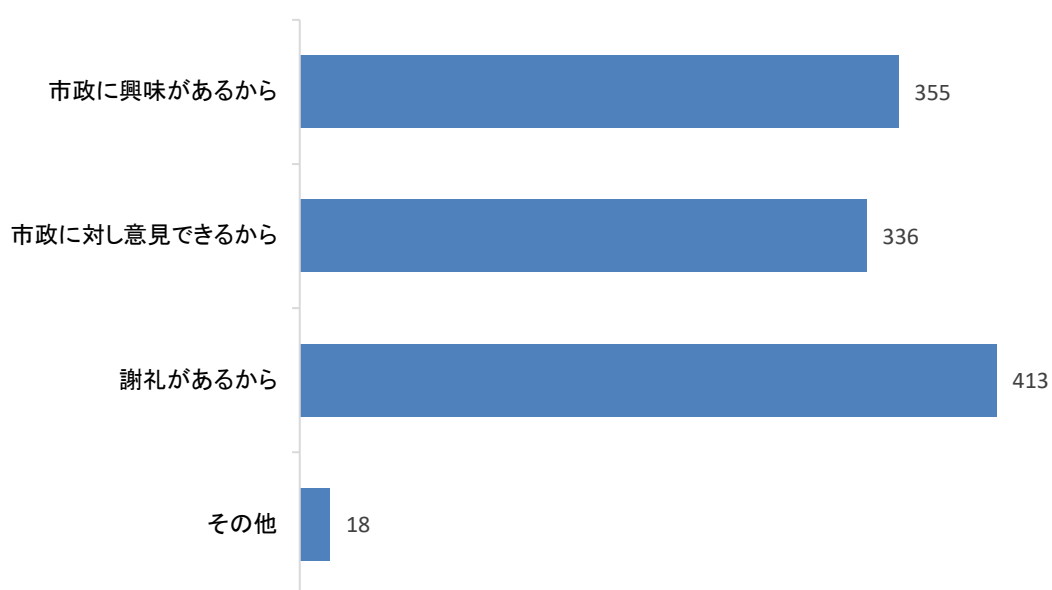
問12: 広聴事業を利用したことのある人はその理由を教えてください。  
(複数回答)



**【主なその他の意見】**

- ・尋ねたいことがあった
- ・トップに話をするのが一番実現する可能性が高いから。担当部署だと握りつぶされそう。
- ・親睦を図る。活動を知ってほしい。

問13:eモニターに申し込んだ理由を教えてください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・安城市民になったのだから市民として何が出来るか？と考えた時、目の前にあったから
- ・有益な情報が手に入るかもしれないから
- ・今までそれ程市政に興味が無かったのですが、大人ですし、生まれてからずっと住んでますし、知る為に関わってみようと思いました
- ・市政を知る機会になるから
- ・関心を持ちたいから
- ・安城市の住民として「市」に少しでも役立つことができそうだから
- ・興味とまではいなくても、何かしら参考にはなるから
- ・何が問題に上がるのか知りたいから
- ・多様な意見を収集して市政に反映しようとする努力に市民として答えたい。E-Mailで答えるので時間的にそれほど束縛されない。
- ・安城市に住んで良かったと思う街にしたい。健幸都市を実現したい！



問14：広報広聴事業について意見があれば記入してください

広報について、電子版があるのであれば、全員が読むわけではないと思うので。紙の配布は資源の無駄かなと思いました。もし紙で欲しい人はもらえる場所があればそれで解決する。

他府県から引越し、知り合いもおらず、どのような市で、町に何があるかもわからないので、広報あんじょうに掲載されているイベントに参加してみたり、こんなこともされているんだと市政を知ることができて、とても助けられています。情報収集するのにとても便利に感じています。配布されるのが毎月の楽しみのひとつです。

公民館で開催されているイベントや、期中参加もできるイベント等があれば掲載してほしいです。

私が市政を知る機会は広報あんじょうを読むくらいしかありませんが、紙媒体で配布されるからこそ読んでいるというもあります。

デジタル媒体も良いと思いますが、気になる箇所に付箋したり、マーカーしたりなどは紙媒体ならではのだと思いますので、このまま紙媒体での配布をお願いしたいです。

広報あんじょうに電子版があることを知らなかったのでも周知の必要があるのではないかと思います。電子版があるなら是非利用したい。

税金を使って作成されているものなので、市民に読みたいと感じられるような内容で作成してほしい。

家に届くことで全て目を通すが、デジタルになるとわざわざ目を通さないと思う。しかし、紙の無駄だとは感じる。デジタルにし、閲覧板に一部あれば意識的に読める。

一市民としての意見を伝える機会はなかなかないので、アンケートとして聞いてくださり、とても良い機会と感じています。今後も機会があれば継続したいです。

市長へのメールを利用したことがあるが、とても大事なことなのに、小学校に問い合わせとか、他の機関に問い合わせなど、たらい回しで全く納得のいく返事がもらえなかったのでも、意味がないと思った。

市のウェブサイトが見にくいので広報あんじょうのウェブ版を見ようとするも、なにがあるかな？わくわく、というような気持ちも湧かないためしばらく見ていません。

さらに最新号を開いてもPDFの羅列であるため見にくいです。

その号で3大トピックスなどパッと目につくようにしてみたり、普段ばらばらとしか見ないような人に見てもらえるようなかたちにしてたらみたらどうかなという気持ちになります。

時間があつた時はゆっくり紙面をめくって見ていましたが、今はほとんど見れておらず、知人からラインで知ることの方が多いです。

公式LINEなど直接市民にパッと大枠を伝えるかたちでもいいのかなぁと思います。

毎回イベントや公民館の情報などを楽しみにしています。

市政のページも目を通させていただきますが、やや説明が長いと感じるので、概要が掴みにくくもう少し簡略化されてもいいかと思っています。

介護や事業に力を入れ、活気ある街の様子を知ることができ、毎回広報を楽しみにしています。いつもありがとうございます。

色々なところに情報が分散している気がします。

ネットなどで自分の見たいページに行きやすくなったり、全ての情報がまとめて閲覧出来るなど1箇所に分かりやすくまとめられたら嬉しいです。

広報あんじょうについて、情報が沢山あり読み応えがあります。

ただ、後ろの方は文字ばかりで探していた案内を見逃しがちです。

おそらく知らない人が多いと思うので、紙媒体でも電子媒体でも普及して欲しい。

市での困りごとは常に存在するので、寄せられた意見などに対し、どのように対応したかを見える化及びバックナンバーの公開をしてもらえると嬉しい。(すでにある場合はすみません、存じ上げなかったのでも調べるようにします)

以前、YouTubeで市長のお話を聞きました。市の公共事業や道路整備などに関する内容です。また同じような機会があれば参加したいと思います。

市長に意見出来るなんて、全く知りませんでした。

子供を持つ親として、思うことは多々ありますので、きっと他の方も思うところはあるけれども、意見を出来る機会があるのを知ってる人は少ないのでは？

そういうことも広報あんじょうに載せて欲しいです。

Webサイトでは後日どこに記事が掲載されていたか探すのが大変です。紙だと印をつけておいたり、必要な部分を抜いたり、切り取ったり出来るので現状が一番よいと思います。  
重度障害児と要介護4を介護しているので、中々外には取りに行けないので宅配される広報はありがたいです

広聴事業について、市長へのメールや郵送での意見箱よりも、もっと気軽に意見を出せる方法があれば、利用したいと思う。(市役所の窓口に意見箱を設置する、市長宛ではなく各部署宛のメールを送れるようにする等)  
広報の戸別配布を廃止することによって、それにあてていた予算を別の事業にあてられるなら、電子媒体への移行に賛成します。現在は定期的に配布されていて、届けば見るという意識になっている。電子媒体のみになった場合、自分から検索・閲覧する意識に変えていかなければならないので、市民の意識を変えるためのアプローチも必要になってくると思いますが。

広報の紙媒体についてはそこまで思わないのですが、市のHPはもう少し改善すべきだと思います。近隣の市に比べて使いにくい、見にくいと感じます。  
また、全くと言って良いほど安城市に魅力を感じるレイアウトではありません。  
もう少し見やすく、魅力あるようなレイアウトにしてみることを検討願います。

議員さんと、障がい者を持つ親の座談会みたいなものがあればいいと思う。

若い世代はデジタルで閲覧の方が資源も無駄にならないと思います。  
高齢などでデジタルに馴染みがない人達へは公共施設などでの配布が良いのではと思います。  
公共施設での配布時にデジタル教室などを開催すれば、新しい事にチャレンジも可能になるのではと思います。

「こうしたらいいのに」と思うことは日々沢山ある。ご意見ボックスのデジタル版があると手軽に良い意見が収集できて良いと思う。

今のままでいいと思います。私もそうですが紙媒体、希望です。お年寄りもそうだと思いますが、電子化してしまうと苦手な人が安城市の情報を知ることが出来なくなる可能性が出てくると思います。広聴事業についてはなんだか勇気がいります。自分が意見したり参加したりしていいものかと思います。

ほとんどの若い世帯の家庭が広報あんじょうを読まずに捨てている状況をご存じでしょうか？  
紙媒体がまだ必要であれば新聞紙のような紙面では無理でしょうか？

読むか読まないかは、受け取った側に任せれば良い。戸別に配らなくなったら誰も読まなくなる。

世の中の流れからすれば電子化を進めるべきですが、我が家でも子供がおり、その子もみることを考えると紙媒体も残して欲しい。自ら取りに行くとなると確実に取りに行かなくなってしまう。

各公民館でのイベント情報も広報紙で案内してほしい。

メールで意見を送ったことは何度もあるが、意見に対しての反応が分からず、一方的に終わってしまう。市長へのメッセージは本当に市長に届いているのか…と疑問。

eモニターについて、これまで参加した友人が昨年外されてしまい残念がっていた。参加したい人から広く意見を聴いた方がよいと思う。

広報の電子媒体化は環境、経済など様々な観点から早急に進めたいです。私も紙媒体が自宅に届くから読んでいたが、データをダウンロードして読む方法で慣れれば問題ないと思います。印刷や配布に関連する費用を電子媒体利用者へ還元することを数年間続けて普及促進できないかと思いました。

広聴事業については、市長相手は私的に緊張してしまうので、市議会議員さんなどが相手のほうが気軽に参加できると思います。

広報あんじょうは、毎号読んでいたので必要性を感じるが、綴じるためのファイルは要らないと思う。読んだら基本的に廃棄するし、必要なページだけ切り取って保管している。  
広聴事業は、一部の人だけ利用しているイメージ、印象です。特に市長との茶話会も気軽に参加できる印象がない。夫婦共にフルタイム勤務していたら、何よりタイミングが合わないです。

ご意見ボックスや市長へのメールは良い取り組みだと思います。  
しかし、その意見や回答を目にした事が有りません。  
広報あんじょうに別紙で挟み込む等して、認知度を向上させる必要もあるのではないのでしょうか。

市民の声を聞く活動を自発的に進めてほしい。それが市民に寄り添う活動になると思うため。

<p>市公式SNSのLINEはいつも拝見してます。紙よりやはり便利。 70歳以上くらいからの、年配の方は、スマホはやはり難しいので紙がいいかもしれません。</p>
<p>広報は毎月戸別で届くので、目を通しています。ラインでも届くのですが、開いて読むことはないです。紙で届かなくなったら、読まないと思います。</p>
<p>市長へのメールなど 意見がもらえる場があることは良いと思う。ただ回答が微妙だと思う。言い訳っぽいようで前向きな回答が少ないと思う</p>
<p>意見がいかされているのか全く分からない。意見に対する考え方などが示されない。</p>
<p>広報を配る方達への報酬金額と郵便局で全戸配達の場合どちらが割安なのか？それによって効率化、コスト削減を考えた方が良くと思います。</p>
<p>広報あんじょうの紙版の配布については、各戸配布の必要はないと思っています。以前住んでいたマンションでは、各戸郵便受けの近くに設置されたごみ箱に大量に広報あんじょうが捨てられていました。必要な情報は自分に合ったやり方（紙版、ウェブ版）で取りに行くスタンスでいいかと思っています。</p>
<p>このアンケートの頻度でなく、ラインで広くたくさん意見を募って欲しい</p>
<p>ご意見BOXが郵送とあるがメールなどの方が意見が利用しやすいと思う</p>
<p>毎回広報楽しみにしています。 今の時代どんどんペーパーレス化が進んでいるが、全てウェブにしたら、ウェブ閲覧出来なくなった時に不都合。 紙面の方が、直ぐに見たい時に取りだし、ゆっくり何度も読返しが出来るし、各家庭に届くと安城市民という自覚、安心感が湧く。 安城市ウェブサイトだと、見辛いし目も疲れるし、本当に必要な時に必要な情報しか閲覧しないと思います。 現状維持のまま、これからも安城広報は、各家庭に配布を希望します。</p>
<p>広報は基本デジタル化で良い。必要な人は公民館など配布場所を設置して取りに行っただろうか。 高齢の方もスマホを使っている割合が多いため、紙から電子に切り替えていけばいいと思います。</p>
<p>市民の相談事がなかなか市長まで届かない。</p>
<p>今後は環境面で紙媒体を減らしていただきたいと思いますが、電子媒体で情報が得られない人を出してはいけないと思いますので、課題だと思っています。</p>
<p>「広報あんじょう」の紙での配布は希望者で、ウェブで見たい人は配布をやめてもよいと思う。徐々に紙での配布から、デジタル化に移行した方がよいと思う。</p>
<p>この事業に限らず安城市のWEBはわかりにくいものがあるので、もう少し市民の意見を聞いて改修するのもいいのではないのでしょうか。利用するのは市民なのだから。</p>
<p>現状、市民の半数の人が紙媒体で市政情報を得ていると思う。広報あんじょうを見て安城市民であることを意識できている。しかしSDGsの観点からするといつまでも紙媒体に頼って市政情報を見るのは問題だと思う。紙使用量削減の為に全戸配布から公民館等に配置する形へ徐々に移行していく時期かもしれない。eモニター、市役所への意見メールは安城市民の幅広い柔軟な意見を吸い上げ市政に活用するツールとして継続していく必要である。</p>
<p>市民の意見に対し真摯に対応してほしい。</p>
<p>eモニターも同じですが、意見やアンケート回答がどのように市制に反映されているかがわからない。eモニターの回答はホームページで公開されているけど、どのように反映されているかわからない。</p>
<p>市民の意見を本当に聞かつもりで運営すべきだと思う。</p>
<p>安城市は大変住み易く良い市だと自負しているが、岡崎市や刈谷市の影に隠れて、他への発信力や行動力が弱いと思う。 市をあげて、安城市ならではのものをもっと他へ伝えて欲しい。 テレビの特集で、いつも同じ飲食店や三河安城駅の貧弱さが取り上げられるのは辛い。</p>
<p>先日の外国人生活保護申請に対する窓口の不適切発言、ニュースなどで報道されていますが、広報などではこの件に対するお詫びなどはありません。不祥事に対する事は広報には載せないのですか</p>

安城市は住みやすい所だと思います。特に意見したり困ったりした事は今まで無かったですが、何かあったら市議会議員に相談すれば良いかなと思っていました。市や市長に直接お話しするのもありなのですね

広報あんじょうのページ数が以前より多くなりましたが、内容が充実していて、仕方がないかと納得できます。むしろ各月毎になっていて、情報が分かりやすいと思います。電子媒体での広報はいつでも見ることができて便利ですが、自ら情報を求めてアクセスしなければならず、忘れてしまいそうです。紙媒体は、自分にとって必要な記事が載っているページに付箋を貼ったり、書き込みをしたりして目につく所に置いておけるので、継続して欲しいと思います。

市民との意見交換の機会をもっと持って欲しい。  
大げさでなく、フランクに簡単に話しやすいのが希望です。

高齢化社会になっても、私はパソコンやスマホが使えるので苦労はないが、今後5年間ぐらいが、NETやSNS等が普及していく過渡期だと思われます。あとしばらくは、紙とSNSで併用して広報広聴活動を行ってください。

意見をして、返事はお決まりの、感謝、検討します、というようなものでは、誰ももう出さないうと思う。

広報のページ数が増えていると感じる時もあるが、内容を確認するとよく纏めいていると思う。巷では直ぐに電子版に切り替えという声も出るだろうが、多様性に準じ廃止しないほうが良いと思う。色々新しい試みをしておられるが、webありきとなってしまうのは仕方がないが、工夫して市民が納得できる事業にしてください。

このeモニターの結果がどのように活用されているのかいないのか、公表してほしい

広報あんじょうへ市長からのメッセージ（市長が思っていること／個人的な内容でもよい、現状の市政での良いこと問題点となっていること等）をより多く発信して頂ければ、簡単に広く浅く内容を伝えることが出来るのではないのでしょうか？  
そしてそれについての意見等がある場合は、市長へメール等を行っていただければ、双方向でのつながりになるのではと思います。

市政に意見がある場合、気軽に意見が出来る広聴事業について幾つかの方法は聞いた事がありますが、このeモニターも含め、あまり周知されていないのではないのでしょうか？  
そして、何事に対しても迅速丁寧に対処して頂きたい。市の対応は遅い、不親切という感じが強い。

要望がある時は担当部署に要望を伝えたりすることもあります。正直なところその要望が取り入れられた感触がありません。「ご意見はお聞きしましたが、ご理解とご協力をお願いします」「町内会を通してください」「予算がかかる事ですので、全ての市民の皆さんのご理解がいただけないと思います」などの対応でした。担当部署は決められたことを実行するところで、市民の意見を取り入れる所ではないと思いました。どうしたらいいのでしょうか？  
市長へのメールでは、意見を取り入れていただけました。

以前、市長とティーミーティングに参加させていただき、活動のご報告などさせていただきました。自分も安城市民として活動できていることが、認めていただけている感じで、嬉しいひとときが過ごせました。市長と茶話会という名前に変わっても続けていただきたいと思います。

問い合わせに対して、安城市としての指針を答えて欲しいと思います。  
なしのつぶてだと、徐々に市民の声が届かなくなりそうです。

あまり市民の意見を聞いていただけないことがあり言っても無駄だと感じた。

eモニターアンケート回数を、もう少し増やしてもよいかと個人的には思います。

市長へのメール等には、真摯で誠実な対応をお願いしたい。

広報誌の紙質は、もう少し落として経費を節減してもいいと思う。

他の市町村に比較すればページ数も多く多面的な情報が掲載され非常に楽しく拝読させて頂いています。欲を言いますと少しカラーが多いのかな？印刷コストを考慮すると。

もう少し安城を世の中に売り込む旨い広報が考えられないか。例えば、市内でユニークな事業（農業でもサービス業でも、産業でも、あるいは学業でもスポーツでも）をある期間を限って集中的に取り上げ、全国的に売り込む事で、安城を知らしめる。なお、「外国人に生活保護を認めない」といって訂正するというようなネガティブな全国紙ニュースになるような事態は生じさせないことも重要。

「広報あんじょう」は良く出来ていると思います。しかし、もう少し市民の生の声を掲載すると良い。この「安城市eモニター」の結果を掲載するのも良いと考えます。